

社協だより



災害に強いまちづくりをめざして

▲団体登録をされた八女青年会議所様

災害ボランティア 事前登録を始めました！

近年、毎年のように各地で地震や台風、豪雨による自然災害が発生しています。

災害時において設置・運営する災害ボランティアセンターは、被災地域の復旧・復興、地域住民の生活再建にとって欠かすことができない役割を担っています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が全国で拡大している現在、従来のように、被災地域が広域から協力を得ながらセンター運営を行うことが困難になっています。

広川町社会福祉協議会では、もしもの災害に備え、町民同士が助け合える仕組みとして、8月から「災害ボランティア事前登録」の受付を始めました。皆様のご登録をお待ちしております。

※登録方法等、事業詳細につきましては、4ページに掲載しております。

◆◆ 目次 ◆◆

- P. 2 令和2年度事業報告
- P. 3 令和2年度決算報告
- P. 4 地域支え合いだより
災害ボランティア事前登録制度
- P. 5 福祉教育「ともに生きる力を育む」
毎日ちよいと！自宅のできる介護予防
- P. 6 デイサービスだより
管理栄養士おすすめ！今日のひとさら
- P. 7 シリーズみんなの介護①
- P. 8 香典返し寄付へのお礼
介護スタッフ募集
ボトルキャップ&プルトップが福祉事業に
「はなやぎの里」施設利用のご案内



令和2年度 広川町社会福祉協議会事業報告

少子高齢化や人口減少、地域住民のつながりの希薄化など、地域社会が大きく変化し続ける中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も重なり、地域が抱える課題は一層複合化・複雑化しています。本会は、コロナ禍での「新たな日常」を踏まえ、広川町地域福祉計画・広川町地域福祉活動計画を指針とした令和2年度本会事業計画に基づき取り組みを進めました。

「第2期広川町地域福祉活動計画」の策定

・広川町の地域福祉計画と連携する民間の活動計画「第2期広川町地域福祉活動計画」の策定に向け、委員会を設置し、「わたしたちが共に生きていくために一人ひとりの『気づき』と『工夫』で創り出す安心できる暮らしの実現」を基本理念とする、第2期広川町地域福祉活動計画を策定しました。



地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進

・高齢者等が身近な地域で買い物できる環境を整えるため、行政、企業、地域と連携し、協定締結に基づく「移動店舗販売」を町内24カ所にて開始しました。



生活困窮者支援・権利擁護の総合的推進

・新型コロナウイルス感染症の影響により、生計の維持が困難になった世帯に対し、緊急貸付けを行う「特例貸付」の相談窓口として体制を強化し対応しました。

・認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な人の暮らしを支援する「日常生活自立支援事業」に取り組み、福祉サービスの利用支援、関係機関との連携強化に努めました。

質の高い在宅福祉サービスの提供

・コロナ禍においても、安心・安定した福祉サービスを提供するため、感染予防対策を徹底し、町受託事業である介護予防事業「いきいき元気教室」等と合わせて、総合的な在宅福祉サービスの提供体制づくりに取り組みました。



広川町協ホームページ
QRコード

災害支援等に関する取り組み

・令和2年7月豪雨に伴い、大牟田市が開設した「大牟田市災害ボランティアセンター」に本会職員を派遣し、被災地の復旧・復興に向けて、災害ボランティアセンターの運営支援に取り組みました。

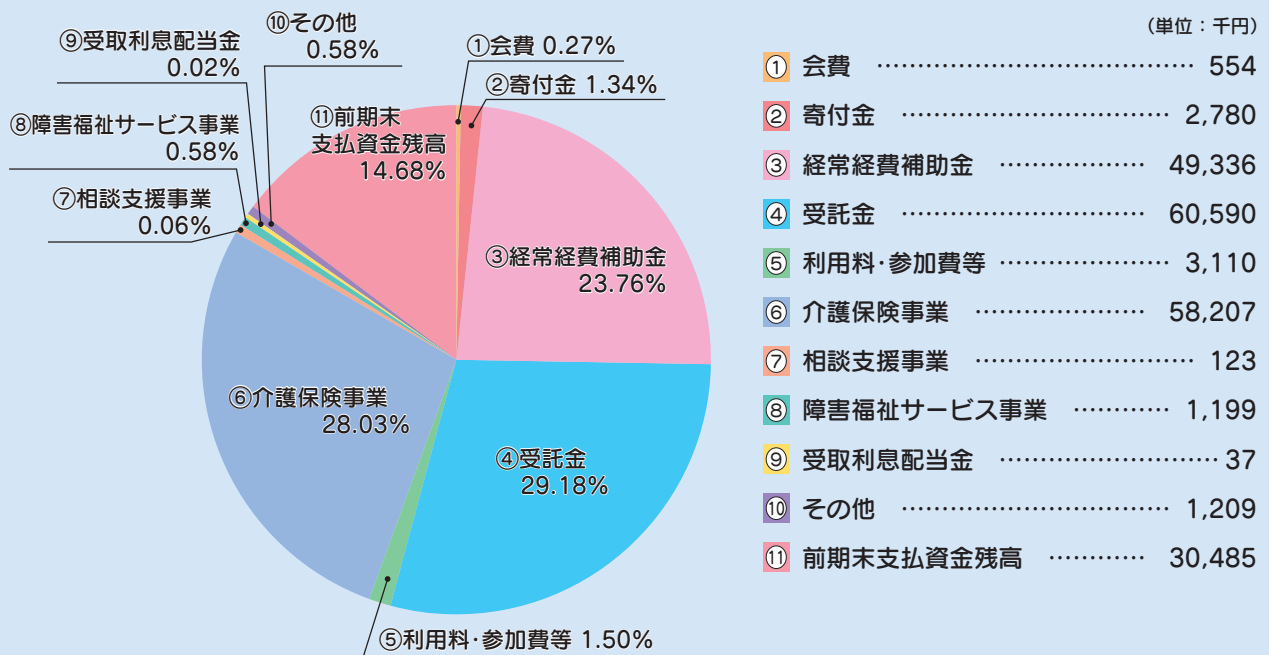


事業報告の詳細につきましては、本会のホームページにて、公開いたしております。

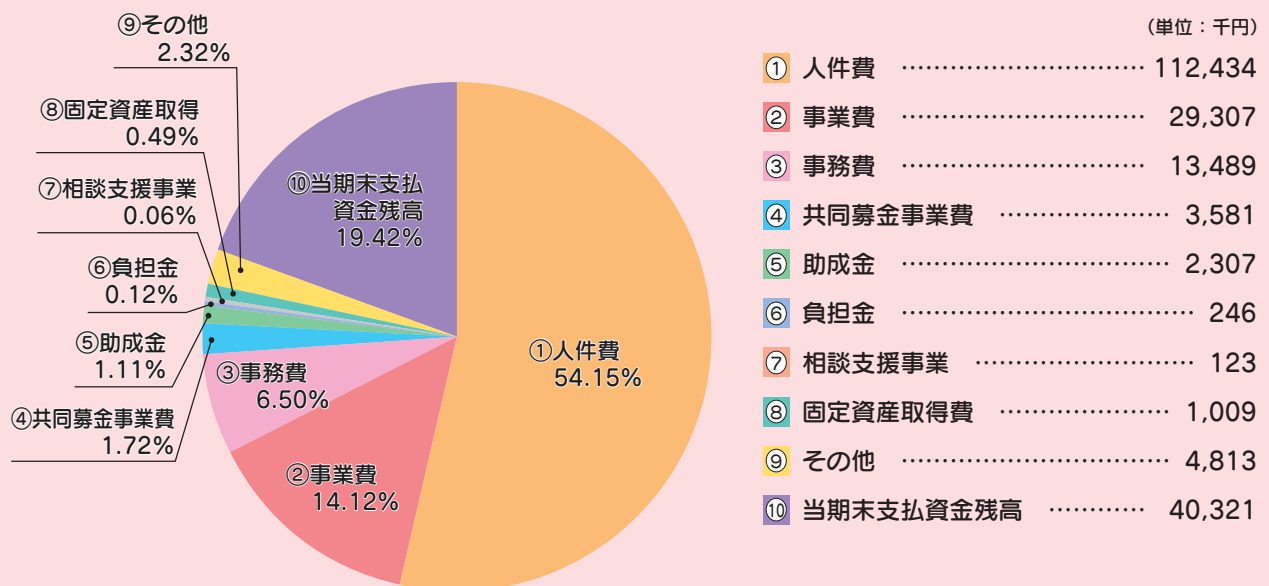
令和3年度におきましても、引き続き、広川町の更なる福祉の充実・発展のため、福祉サービスの創造、事業推進に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度 広川町社会福祉協議会決算報告

歳入総額 207,630,000円



歳出総額 207,630,000円



地域支え合いだより

このコーナーは、住民一人ひとりが自分らしく生きがいを持って暮らすことができる「ふくしのまちづくり」に向けて、様々なカタチで取り組まれている支え合い活動や、地域でのつながりづくり、健康・生きがいづくりを目的とした活動等について紹介するコーナーです。

地域密着!! ～支え合いレポート⑦～

今回は、広川町社会福祉協議会のボランティア活動センターにおいて、8月より開始いたしました災害支援の取り組み「災害ボランティア事前登録制度」を紹介します。

「災害ボランティア事前登録」とは、災害時にボランティア活動を行う意思のある個人または団体を事前に登録し、災害が発生したときに、迅速かつ円滑なボランティア活動につなげることを目的とした取り組みです。

Q. 登録の要件は？

A.

下記(1)(2)を満たすことが登録の要件となります。

- (1)広川町に在住、勤務、在学または拠点を有している個人及び団体で、災害時にボランティア活動を行う意思のある者。
- (2)18歳未満（学生の場合は18歳になる年度の末日まで）の場合は、保護者の承諾を得た者。

Q. 登録すると、どうなるの？

A.

登録された方には、本会のボランティア活動センターから、災害ボランティア活動に関する講座や防災訓練などの案内をさせていただきます。

また、もしもの災害が発生した時には、被災地の復旧・復興の段階やニーズに応じて、ボランティア活動へのご協力をお願いする予定です。

Q. 登録の方法は？

A.

下記(1)(2)のどちらかの方法でご登録ください。

- (1)広川町社会福祉協議会ホームページ内「災害ボランティア事前登録専用ページ」からの申請

専用ページ
QRコード



- (2)広川町ボランティア活動センターに来館

▲携帯・タブレットから申請ができます！▲



登録された方の声

今回、地域で活動する団体として災害ボランティアの事前登録をさせていただきました。毎年、各地で災害が発生しています。私たちが住み暮らす地域も例外でなく、近年は、今まで経験したことが無い大雨や水害が発生しています。また、コロナ禍により感染予防対策をしながらのボランティア活動や、県境をまたいでの移動等が制限される中、やはり地元の人間による災害時の活動は大切です。

有事の際には連携し、迅速かつ円滑に行動でき、平時の際は絆を深め備えることができる。この事前登録こそが、その一助になることを確信しておりますし、相互扶助の精神を一人ひとりが自覚をもつことができます。助け合いの心を働かせ、思いやりを持ち、手を差し伸べることができるように繋がっていきましょう！



八女青年会議所
重野 雄紀 理事長

ともに生きる力を育む～中広川小学校で福祉教育を実施～

広川町社会福祉協議会では、すべての人がかけがえのない存在として尊ばれ、社会生活の中でともに支え合い、一人ひとりが「ともに生きる力」を育むことを目的として、福祉教育に取り組んでおります。

去る6月2日（水）、中広川小学校4年生を対象として「車いす体験からともに生きるを考える」をテーマに授業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症予防の対策として、クラスごとに分散して授業を実施させていただいたほか、生徒の皆様にも手指や用具の消毒にご協力いただき、安全に車椅子の自走・介助体験をすることができました。

生徒の皆様から感想文を寄せていただきましたので、ご紹介させていただきます！



車いすを動かす時に、どのような声かけをしたらいいかわかりました。車いすを使って、一人で曲がる時に、とても大きく曲がってしまったので、しょうがいがあって車いすにのっている方々は、曲がる時や段差などがあると、こういうことに困るんだ。と知ることができました。

私も、ふくしを目指して、私にできることがあればやろうと思いました。たとえば、お店などに車いすの人がいたらスペースをあけて通してあげようと思いました。

車いす体験で、車いすの動かし方や、車いすにのっている人の介助の仕方などがわかりました。その中で特にわかったことは、ちがうものどうしでもちがいをみとめ合い、ともに生きるということです。

ちがいをみとめ合えば、だれとでも友達になれることがわかりました。とっても大切なことがわかりました。



▲車椅子の介助体験

体験を通して、様々な人の暮らしを想像し、それぞれの目線で障がいや福祉について考えを深めるきっかけになればと思います。個々の多様性を認め合いながら、“みんなとともに、それぞれが自分らしく生きること”が尊重される地域づくりをめざして、今後も福祉教育に取り組んでまいりたいと思います。

毎日ちよいトレ！自宅でできる介護予防体操

新型コロナウイルス感染症予防のため、外出を控える方も多いかと思います。このコーナーでは、自宅でできる筋トレを紹介します。毎日の生活習慣に取り入れて、体力の衰えを予防しましょう。

背中のかり・猫背予防の運動

①椅子に座り、足は地面にしっかりつけます。

②両肘を軽く曲げ、肩甲骨を動かすように、腕を大きくゆっくり前後に10回振ります。

【ポイント】

肘を背筋よりもできるだけ後ろに引くように心がけて動かしましょう。

動きは無理のない範囲で行いましょう。

【効果】

肘を前後に動かすことで、肩甲骨の動きをつかさどる筋肉（菱形筋）が鍛えられ、背中のかりや猫背予防・改善につながります。



自宅で楽しく介護予防ができる「広川まち子ちゃん元気アップ体操」のDVDも貸し出し可能です！お気軽にご相談下さい。





壁面飾りをつくろう！ お部屋を彩るデイの花火

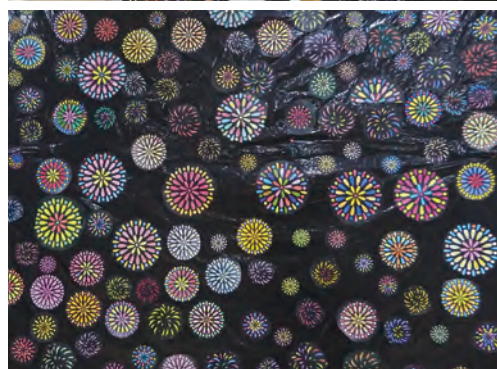
デイサービスでは、季節ごとにお部屋の壁面飾りをつくりました。今回のテーマは『花火』。

デイサービスのお部屋に打ち上げ花火を飾ろうと、レクリエーションの時間に、ご利用者様お一人お一人に、花火の色を塗っていただきました。

みんなで相談しながら、心を込めて作成した花火。今日も、鮮やかにデイサービスの部屋を照らしてくれています。



■ デイサービスの体験利用や見学につきましては、
随時受付をしております。お気軽にご連絡ください。
【問い合わせ先】 通所介護事業所 ☎ 0943-32-7072



▲ 完成した壁面飾り

管理栄養士おすすめレシピ

今日のひとさち



季節の変わり目、夏から秋にかけての不調はありませんか？ 疲れや食欲不振をリセットしましょう。
栄養、運動、睡眠、心も身体も元気に！

豚肉と野菜の甘酢あん

【材料・4人分】（1人分141kcal, 食塩相当量0.7g）

- ・ 豚こま切 …………… 200g
- ・ 茄子 …………… 中1本
- ・ ピーマン …………… 2個
- ・ 赤パプリカ …………… 1/2個
- ・ 生椎茸 …………… 4枚

- A
- ・ サラダ油 …………… 大さじ2/3
 - ・ 砂糖 …………… 大さじ1
 - ・ 酢 …………… 大さじ1
 - ・ しょうゆ(濃口) …… 大さじ2/3
 - ・ みりん …………… 大さじ2/3
 - ・ ケチャップ …………… 大さじ1と1/2
 - ・ 片栗粉 …………… 大さじ1/2



【作り方】

- ① 野菜は食べやすい大きさに切る。
- ② 茄子は切って、水にさらしておく。
- ③ 調味料を合わせておく。
- ④ フライパンに油をひき、豚肉を炒め、野菜を炒め合わせる。
- ⑤ 調味料【A】を加えて味を整える。

シリーズみんなの介護①

今号から始まりました新コーナー「シリーズみんなの介護」。このコーナーでは、私たちの暮らしにとって、大切なテーマでもある「介護」に焦点を当て、よりよい介護＝よりよい暮らしについて考えます。

よりよい介護を続けるために＝「共感」の大切さ

●よりよい介護は「共感」から

現在、様々な地域で「オレンジカフェ」「介護者カフェ」といった、認知症の人や、介護をしている人、地域の人等が参加する集いの場・居場所づくりが広がっています。

広川町社会福祉協議会でも、「なのはなカフェ」を毎月開催しており、そこでは、それぞれが直面する介護の場面や工夫、日頃の思い、最近の出来事などを話されます。

- ・ 介護をしている自分の気持ちは、これまで誰にも話せなかったし理解してもらえなかった。
 - ・ 自分のこと(介護)を話せる、聴いてもらえるって、こんなに気持ちが軽くなるんだ。
 - ・ いつもイライラして嫌な人間になっていく自分がいる。でもここに来たら、ちょっとだけ優しくなれるような気がする。
 - ・ 介護をしているときは余裕もなく、本人に八つ当たりすることもある。亡くなった後思うことは、それでももっと側にいて欲しかった・・・
- (参加者談)

●話せる、聴いてもらえる安心感

「誰にも話せなかった。誰にも理解してもらえなかった・・・」。実際に介護をされている人が、ポツリとつぶやいた声でした。

介護のあり方は様々ですが、その現場が在宅であれ施設であれ、「介護」に直面した時には、たくさんの思いがあふれます。



▲「なのはなカフェ」の様子

●制度や介護サービスの充足

それだけでは埋められない部分も

長寿化・高齢化が進み、私たちの暮らしにとって「介護」は、他人ごとではなく、誰もが通る、人生の大切な一場面になりました。

介護をサポートする公的な制度やサービスが整備され、介護をとりまく環境は時代とともに充足していくなかで、それだけでは埋められない部分もあると言われています。

それは、同じ立場にある人同士だからこそわかちあえる、「共感（理解）」から生まれる安心感です。

●抱えこまない介護と、その先にあるもの

「介護」のある暮らしは、毎日が、今までのように進まなくなったり、そのことで心に余裕がなくなったりすることもあります。また、それぞれの暮らしに密着しているため、なかなか相談できなかつたり、時として抱え込んでしまったりすることが多いのも事実です。

よりよい介護につなげていくためには、一人で抱え込まなくていい、一人ではないと感じられることが必要だと言われています。

今、そのような安心できる場として「カフェ」の取り組みが地域に広がっています。相談機関はもちろんですが、身近な地域に、少しだけ肩の荷をおろし、ほっと一息できる場所（人）があることが、抱えこまない介護には大切であり、そのことが日々の安心感につながると「カフェ」を通じて感じています。

その安心感が、介護のあるよりよい暮らしにつながることを願って・・・

なのはなカフェ予定

(令和3年度9月以降)

9/27 (月) 10/25 (月) 11/29 (月)
12/20 (月) 1/31 (月) 2/28 (月)
3/28 (月)

場所：はなやぎの里 1階 休憩室
時間：13:30～15:30

寄付へのお礼

令和3年5月1日～7月31日 受付分

社会福祉協議会へのご寄付をいただきました。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

〈香典返し寄付〉

ご芳名をご紹介させていただき、故人のご冥福を心からお祈りいたします。

行政区	親族	故人
六田	中島 順子様	康 仁様
太田	山崎 亮二様	弘 様
長延上	萩尾 喜久夫様	キヨコ様
久泉	馬場 洋一様	馬場 春子様
北新代	藤枝 房子様	國 光様
清楽	山下 早苗様	セツコ様
吉常	中村 勝一様	艶 子様
当条	園田 俊也様	勝 利様
藤田	古賀 久美子様	正 文様
長徳	山下 光久様	キヌエ様
久泉	馬場 ひで子様	馬場 和代様
長延上	辻 ミツ子様	節 生様
当条	野田 隆人様	キヨ子様
扇島	藤島 清美様	邦 治様
増永	井上 知子様	行 俊様
久泉	萩尾 武司様	けい子様
藤田	古賀 繁子様	和 紀様
古賀	稲員 澄雄様	仁 美様
清楽茶屋	岡村 くに子様	恵美子様
高間	渡辺 福哉様	洋 子様

介護スタッフ募集 !!

広川町社会福祉協議会では、介護スタッフを募集しております。

【募集概要】

勤務地：広川町保健・福祉センターはなやぎの里

内 容：通所介護事業所内での介護業務等

給 与：日給 7,400 円

時 間：8：30～17：15（実働 7 時間 45 分）

週 5 日勤務

休 日：日曜日、年末年始、シフト制

待 遇：各種保険完備

応 募：下記までお気軽にお問い合わせください。

【問合わせ先】

広川町社会福祉協議会（総務係）

☎0943-32-3768



ペットボトルキャップ&プルトップが福祉事業に

7月14日（水）本会に寄せられたペットボトルキャップ（＝エコキャップ）、プルトップを商工会青年部様にお渡ししました。

皆様からのご協力により集まった資源は、商工会青年部様の福祉事業として、車いすの寄贈や被災地支援に活用されます。

引き続きまして、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



■ご協力いただいた皆様 [令和3年2月9日～7月13日]

下広川小学校様、陽だまりの里様（写真下）、地域の皆様

「はなやぎの里」の施設使用料

★入館料金（開館時間は9時00分～17時00分です）

町内の方	100 円	町外の方	200 円
------	-------	------	-------

※就学前のお子さんについては入館無料です。

はなやぎの里では、ご入浴のほか、マッサージチェア、休憩室もご利用いただけます。

※休憩室の利用時間は9時00分～16時00分です。

※入浴時間は10時00分～16時00分です。

★各部屋料金表

はなやぎの里では以下のお部屋をご利用いただけます。予約状況はお電話でご確認いただけます。

（現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、お部屋のご利用を制限させていただいております。詳しくは窓口までお問い合わせ下さい。）

施設区分	施設使用料（1 時間）		冷暖房使用料（1 時間）
	町内者	町外者	
多目的ホール	1,200円	2,400円	1,000円
調理実習室※	700円	1,400円	600円
会議室（和室）	300円	600円	200円
会議室（洋室）	300円	600円	200円

※利用時間は9時00分～22時00分です。

（調理実習室の利用時間は9時00分～17時00分です。）

【問合わせ先】

広川町社会福祉協議会

☎0943-32-3768

印刷所 株式会社 佐賀印刷社